

◆ 『ゆとりと活力、そして調和のとれた「幸田」のまちづくり』 ◆

さこう弘康

町政レポート



今号のレポートの手配りは、「芦谷地区」です。よろしくお願ひします。

2014年 10月 No.31

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5

TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

日頃のあたたかいご支援に心から感謝を申し上げます。

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年のお夏は、大きな台風や、西日本等では豪雨により甚大な災害も発生し、記録にも記憶にも残る夏だったと思います。

大変な夏が過ぎ、本格的な秋の空気を感じられる季節になりました。

日ごとに秋冷の加わる頃、お身体をご自愛ください。引き続き、ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年10月

ご挨拶



幸田町議会議員
酒向 弘康

議会報告 9月議会 =定例会のあらまし=

平成26年9月定例会は、9月9日に招集され、10月6日までの28日間の会期で開催されました。財政健全化判断比率等についての報告案件1件。副町長の選任、任期満了に伴う教育委員会委員の任命等、人事案件3件。幸田町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について等、単行議案6件。補正予算関係8件、平成25年度の決算認定議案9件の計27件が上程され、いずれも原案通り可決。また陳情10件を審議し、2件を採択、8件を不採択としました。

人事案件

- 副町長の選任について
成瀬 敦氏 (57歳)
賛成:14、反対:1で選任を同意。(任期:4年)

補正予算関係 (一般会計の主なもの)

- 歳入・・・5億8,747万円の増額補正
町民税 法人：企業業績好調 7億5,000万円
個人：個人所得向上 6,000万円等
固定資産税 償却資産分：
企業の積極的設備投資増 2,900万円
- 歳出・・・不燃物処理場解体撤去費：逆川の建屋、炉撤去 3,000万円等
土木費：生活道路整備、河川改修、地元要望の実現 2,200万円等



=町長所信表明= (要旨まとめ)

- 合併60周年の節目でもあり、更に一步先の「幸せな町、幸田町」の実現に全力で取り組む。2期目は9つのまちづくりを目指し一層努力する。
- 「安全安心な町」・・・大災害に備える
・相見駅前交番の設置
 - 「健康に暮らす町」・・・高齢者が健康で楽しく
・産婦人科誘致、公営共同墓地建設計画推進
 - 「広域行政の推進」・・・近隣との友好な関係
・島原市との姉妹都市の推進
 - 「子ども達が元気な町」・・・子どもが育つまち
・6小学校区に児童館建設推進、保育園に民間力
 - 「産業が活気づく町」・・・企業立地を推進
・新産業の創生、農業、商業の再始動の支援
 - 「都市基盤整備」・・・幸田、三ヶ根駅周辺整備
・菱池遊水地の利用計画を作成
 - 「自然と共生、豊かな環境」・・・循環型社会
 - 「文化の香りただよ町」・・・文化財の保存
 - 「行政改革と住民サービス向上」
・町立体育館の建設を推進する

＝平成25年度の決算概要＝

景気回復により最悪期を脱出！

平成25年度の一般会計と各特別会計の決算総額は、歳入は191億3,373万円（前年度比：6億4,821万円の減少）、歳出は181億597万円（前年度比：7億2,863万円の減少）となった。減少要因の一つは、7年ぶりに地方債借入を行わなかったことによる。歳入決算額から歳出決算額等を差し引いた実質収支は、10億480万円の黒字となったこと等から、リーマン・ショック後の最悪期を脱出し、回復傾向にあると見受けられる決算内容となった。

一般会計決算概要

歳入

法人町民税が大幅な増加！（対前年度比＋13.6％）

町税全体で、85億3,828万円、対前年度10億2,125万円（＋13.6％）。うち町民税では、景気回復等により法人町民税8億4,570万円の増収。また固定資産税の償却資産分が、対前年度8,808万円の増となり、対前年度比1億3,783万円の増収となり、借金をしない年度となった。



歳出

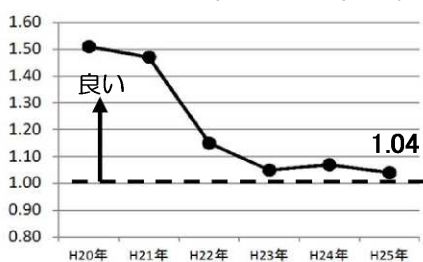
相見駅関連整備工事等が一段落！（対前年度比－3.9％）

主な減少費目は、相見駅建設・相見駅周辺開発整備事業工事費等で4億6,410万円の減少。防災行政無線デジタル化整備の終了等で1億5,711万円の減少となっている。一方、増加費目は、わしだ保育園園舎増築等、民生費1億6,027万円。坂崎小、幸田小、幸田中の地震補強・大規模改造等、教育費が1億7,347万円の増となった。

「わがまちの財政は健全か？」

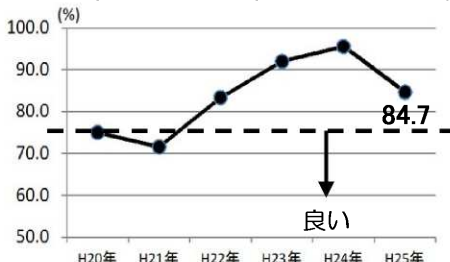
主な財政指標でみる
（家計に当てはまる言葉）

財政力指数（家計の余裕度）



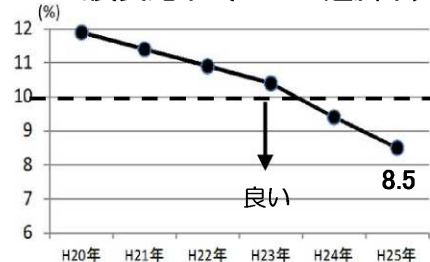
1.0を下回ると地方交付税交付金が支給される交付団体となり、自前で財政運営が成り立たなくなる。

経常収支比率（エンゲル係数）



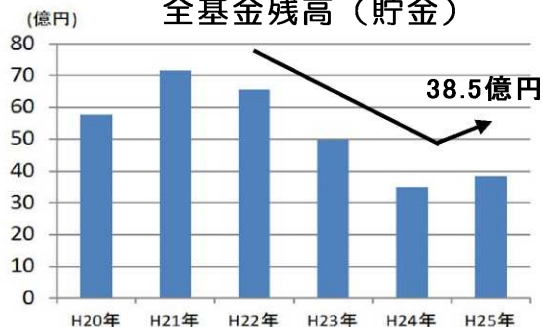
予算に対して常に必要な人件費、設備費やその維持費等を表す数値。75%を下回ることが望ましい。

公債費比率（ローン返済率）



一般会計から借金返済に充てられる割合を表す比率。この比率が10%を超えないことが望ましいとされる。

全基金残高（貯金）



基金の取り崩しを控えた

全地方債残高（借金）



借金を抑えながら財政運営

財政力指数は交付団体ギリギリの1.0に近づいているものの、予算に占める借金返済は8%台に下がり、経常収支比率も改善傾向である・・・更なる自主財源の増強が必要です。

行政の在り方を問う（議案質疑での提言）

『効果のある施策は、組織の壁を越えて迅速に横展開する体制を！』

〈都市公園は遊具の「不具合通報掲示板」なし・・・住民・ちびっこ広場には「不具合通報掲示板」あり〉

組織の壁
を越えて

住民からすると、町の公園は「住民こども部」が所管、都市公園は「建設部」が所管しているといった認識はない。単純に幸田町の公園という感覚しかないのが現実であり、効果のある施策は、組織を横断的に展開し、迅速に推進する体制づくりが必要だ。

『住民のために「ムダを排除し、コストダウン」する努力を！』



ムダの排除

持続力

〈コストダウンを推進し住民サービスで還元！・・・本来の行政のあり方だ〉

備品や事務用品の購入等、庁舎内すべての場所で、あらゆるものをトータルコストで比較したり、他の自治体とベンチマークをする等、「住民の税金だ！」ということを頭に見直しをすべきだ。

『打ち上げた施策は、粘り強く、継続的展開を！』

ごみの減量化等の施策である、「水切りネット」は、4・5年前に展開をされたが、現在、これの持続性がなく展開が弱いと感じる。打ち上げた施策は、信念を持って継続的に粘り強く推進を。

愛知県内では幸田町と日進市のみが増加予測

2040年「若年女性人口」の推移予測

日本創成会議が、全国1,800市区町村の49.8%の自治体で、子どもを産む人の大多数を占める「20～39歳の女性人口」が30年間で5割以上減ると推定。また、896自治体を「消滅可能性都市」と位置付けた。

=今後の重大課題=

これを受け、幸田町として有効な手立ては、子育てしやすい環境づくりです。早急に保育園・幼稚園・学校の整備・子育て支援の充実が必要不可欠です。



愛知県市町村	2010年 総人口	2040年 総人口	増減(人)	若年女性 人口変化率
...				
豊橋市	376,665	334,947	-41,718	-29.6%
岡崎市	372,357	351,620	-20,737	-24.5%
刈谷市	145,781	139,693	-6,088	-22.7%
豊田市	421,487	401,240	-20,247	-21.3%
安城市	178,691	188,241	9,550	-13.7%
西尾市	165,298	148,610	-16,688	-25.9%
蒲郡市	82,249	66,505	-15,744	-35.2%
新城市	49,864	32,468	-17,396	-56.5%
日進市	84,237	103,147	18,910	1.8%
田原市	64,119	48,525	-15,594	-36.9%
みよし市	60,098	67,808	7,710	-0.4%
幸田町	37,930	43,520	5,590	1.3%
東栄町	3,757	1,516	-2,241	-74.8%
豊根村	1,336	1,516	180	-60.6%
...				

子育て支援の充実を訴えていきます！

幸田町議会議員の「政務活動費」どうなっているの？

最近、ニュースで話題となった、他県の県議会議員が、日帰り出張を1年間に195回実施したとして、政務活動費から支出していたことが問題になっています。

幸田町議会議員の「政務活動費」の交付額は「年額6万円/1人」となっており、収支報告書にすべての証拠書類等の写しを添えて報告することが必要です。

基本的な考え方は「住民のために！」

この「政務活動費」の使われ方をめぐり、あり方検討会にて、先払いの仕組み等について検討されています。私たち地方議員は「住民のための政策等について調査研究すること」が目的であることを決して忘れてはならないと思います。



＝トピックス＝

幸田町初！「NHKのだ自慢」

祝！60周年

幸田町合併60周年を記念し「NHKのだ自慢」が開催されます。

＜開催日時＞ 予選:平成26年11月1日(土)開始:午前11時45分

本選:平成26年11月2日(日)開演:午前11時45分

＜会場＞ 幸田町民会館

＜出演ゲスト＞ 千昌夫・イルカ

＜放送予定＞ 平成26年11月2日(日)12時15分～13時＜総合テレビ、ラジオ第1＞

＜お問合せ＞ 幸田町 企画部 企画政策課 広報広聴グループ 62-1111



活動報告

＝政策実現に向け、町長へ要望書を提出＝



9月30日 連合愛知三河中地協の矢田代表以下8人で、幸田町 大須賀町長へ、来年度予算への要望書を提出。

勤労者、町民全体の生活向上と地域の発展に向け「働くことを軸とした安心社会」の実現を目指し、重点要望を下記の6項目を提出。後日、回答を頂き、懇談会を開催予定です。

1. 産業・雇用・労働政策
2. 男女平等政策
3. 福祉・社会保障政策
4. 教育政策
5. まちづくり政策
6. 行財政改革

「くらしの相談室」

【最近の改善事例紹介】

道路の交通安全対策：皆さんの「声」が反映されました。（町内某所）

「樹木で安全確認が困難→植え込み植栽枝の処理を！」 「草木の繁茂で通行危険→樹木枝と草の処理を！」



『たとえ小さなことでも、大きな事故につながります。みんなで「安全第一・無事故！」のまちづくり』

地域での困りごと、町政に対する ご意見・ご要望等、お気軽に「さこう弘康 くらしの相談室」をご利用ください。

「気軽にどうぞ！」

連絡先（事務所）Tel：0564-56-7727 Fax：0564-56-7918



ホームページは「さこう弘康」で検索してください。

さこう弘康

検索

メールでもどうぞ！



※お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。